



そうふうPartⅡ 爽風 発行者：校長 下地美和子	学校教育目標 創造性にあふれた 心豊かでたくましく 生きる児童の育成 目指す児童像 ・自ら学び考える子・思いやりのある子・健康でねばり強い子 ・当たり前のことを一生懸命にやる子（凡事徹底）
★しんけんにもちあじいかしてじぶんから 明るい心 未来へつながる 下地小	

終業式より～「2学期の思い出」

2学期の終業式で、1年生のお友達が「2学期の思い出」を発表してくれました。ご紹介します。

◆ O・I さん



2がっきに、1ねん生と2ねん生でみやこうまを見にいきました。みやこうまにエサをあげたり、しゃしんをとったりしました。

みやこうまをはじめてさわったら、ふわふわしていて、気持ちよかったです。

3がっきもいろいろなことをしてみたいです。

◆ N・I さん

2がっきにがんばったことは、うんどうかいです。かけっこやたま入れ、ダンスのれんしゅうを、みんなでがんばりました。

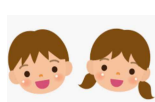
本ばんでは、大せいこうでうれしかったです。

◆ N・A さん

2がっきにがんばったことは、こくごのべんきょうです。

2がっきから、かん字のべんきょうがはじまって、じゅぎょう中やおうちでも、たくさんれんしゅうをしました。すると、テストで百てんをいっぱいとることができました。

3がっきも、百てんをいっぱいとれるように、べんきょうをがんばりたいです。



1年生にとっては、式での発表は初めてです。みんな堂々としっかり発表できました。

クリスマスイブの日に、寄付金の贈呈

12月24日 終業式前日、クリスマスイブの日に、東光電気さんより、金一封のプレゼントを頂きました。

東光電気株式会社さんは、毎年寄付をして下さっています。今年、社長さんはお仕事でお会いすることは出来なかったのですが、心のこもった温かい寄付をいただきました。下地小の子ども達の為に、大切にに使わせていただきます。東光電気さん、誠にありがとうございました。



みんなのやさしい気持ちを集めた 赤い羽根募金～手渡しました。



12月18日(水)社会福祉協議会の友利徹則さんらが来校。これまで集会委員が声をかけ全校児童で取り組んできた「赤い羽根募金」を手渡しました。取組期間は約2週間という短期間でしたが、「募金がいくら集まったか」ではなく「誰かの役に立ちたい!」という「一人一人の優しい気持ちを大切にしよう」という思いで呼びかけ、ポスターや掲示などを工夫し、募金に興味を持ってもらうように取り組んできました。

結果、箱いっぱい集められた募金を手渡し事が出来ました。友利さんは、「皆さんの暖かい心のこもった募金は大切に使います。ありがとうございます。」と話していました。

